

# 大阪城

2023

6/19

(月)

14364

号

全港通

西成分会

2247

6647-

4947

明後日、6/21(水)で、東京の国会も終り。

結局、なんやかんやいわれてきたが、解散総選挙は  
ないままになった。秋の臨時国会まで、もちこたえた  
とかいっている。岸田首相は、自民党の中での党の  
トップ・総裁としての任期が来々9月までなので、  
今年中・年内には、総選挙を自分の手でやって  
「権力を自分の確かなものにした」という権力欲望  
があるだろうと見られている。安倍五流心はやって  
りてもあまり意味はないだろう。

6月も後半に入り、名実ともに一年の後半戦に  
入っていく。梅雨の中とはえ、30度も越す日もあり  
熱中症の心配も生れてきて、真夏日に突入していく。  
季節・自然の変化とあななく、人間社会の流転も  
止まり、終ることはない。

武器を仕事道具として持つ公務員組織・自衛隊  
の中で、18歳の若者が銃をぶっばなして、人間二人を銃  
殺した。武装組織としての「丁目一番地」の問題が

解決できていない。国会で政治を語り、法律をつくる

代議士たちに、解決能力があるとは思えない。  
何の兆用もの金をつぎこんだり、取新式のアメリカの  
ミサイルを買って与えても、解決する問題ではない  
からだ。基本問題に直面して行くことになるだろう。

# 今年度求人の落ち込みがひどい

前月比は先月4月と比べてプラスですが先月(今年度初月)がめっちゃ悪すぎたせい、対前年比まだまだ落ち込んでいます。

	5月の 求人数	対前月 増減比	対前年 増減比
現金(日払い)	11,984	9.6%	-4.5%
契約(延べ数)	12,010	40.0%	-6.6%
高齢者清掃ほか	4,630	0.5%	-5.0%

来年度から建設業でも時間外労働が年間960時間・1カ月のの時間外労働の上限が平均で80時間に制限されることを踏まえ、大手住宅メーカーでは、大工の採用大幅に増やす動きがある。この動きに併せて、初任給などを大幅に引き上げ、長く働いてもらえる環境を整えるようだ。建設業界では大工など一定の技術を習得し社員は、独立したほうが収入面で高くなる傾向がある。前段の環境整備を踏まえ、人材不足による生産性の減少予防のため、社員の離職防止に努めたいという会社としての思惑がある。

地域の現金求人は、対前月増減比9.6%、対前年同月増減比-4.5%となった。梅雨入りし、地域求人が厳しい時期となっている。建設大手の待遇改善の動きが、今後の地域求人にも好循環に作用することが望まれるところだ。

西成労働福祉センター調べ・コメント

きのうNHKの「討論番組でのテーマが「深刻な人手不足」でした。身の回り感覚として「どこが景気がいいの？」という感じですが…